



西東京の教育

市ホームページアドレス
http://www.city.nishitokyo.lg.jp/

平成29年(2017年)3月1日発行 第76号

発行＝
西東京市教育委員会
〒202-8555
西東京市中町1-5-1
電話 042-464-1311(代)
編集＝
西東京市教育委員会
教育部教育企画課

全市立小学校に特別支援教室を試行開設します!

4月から

～個に応じた教育支援の充実を目指して～

来年度から全市立小学校に特別支援教室（L教室及びS教室）を試行開設し、平成30年度から本格実施します。

特別支援教室が目指しているのは、発達や適応のために必要な個に応じた力を、伸ばしていくことです。部分的な指導を受けることにより、通常の学級の教育課程を習得し、社会で自立して生活できることを目標としています。

【対象となる児童】

これまでの情緒障害等通級指導学級と同様、発達障害（高機能自閉症、アスペルガー症候群、注意欠陥多動性障害、学習障害等）などの症状で、通常の学級での学習におおむね参加できるが、学習面の部分的指導や社会性の指導を必要とする児童を対象とします。特に、発達障害の診断を必要とするものではありません。

【2種類の教室】

教育委員会では、「L教室」と「S教室」の2種類の特別支援教室を設置します。どちらを活用すると良いか、また、その指導の開始と終了は、学校と教育委員会が連携し、専門家を交えて各児童に合った支援を、ほかの教育的支援を含めて検討し、判断します。このように、児童が適切な時期に必要な指導を受けられる体制を整え、個に応じた教育支援の充実を図ります。

【利用の申込み】

担任教員や各学校に配置されている特別支援教育コーディネーター教員にご相談ください。これから入室を希望する方は、2学期からの入室となります。

◆L教室とS教室の違い◆

L教室

主に学習上の困難の背景に焦点をあてた個別課題に対応することを目的とし、全ての学校に設置され、専門の教員が各校を巡回して指導します。週1回1単位時間の授業です。



(児童の課題例)

- ・音読はすらすらでできるけれど、書かれていることの意味を理解しにくい
- ・計算はできるが、文章題は苦手
- ・言いたいことを文章で表すのが苦手
- ・手先を使う作業や、学習用具の扱いが上手くない

S教室

主に社会性やコミュニケーション力を養うことを目的とし、拠点校（保谷第一小学校、谷戸小学校及び東伏見小学校）に設置される教室に、保護者などの送迎で通い、小集団指導を受けることができます。週1回半日から1日の授業です。



(児童の課題例)

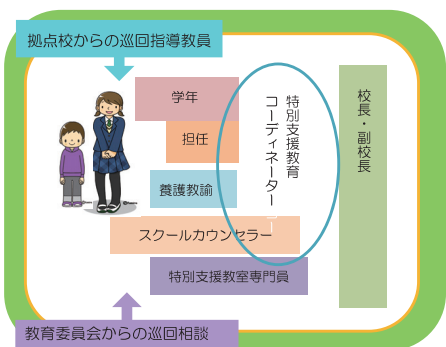
- ・気持ちの切替が上手く出来ない
- ・じっとしていることが苦手
- ・マイペースで周りと合わせられない
- ・コミュニケーションのすれ違いが多い
- ・状況や人の気持ちを捉えるのが苦手

◆教育支援課 042(438)4074

一人ひとりを大切にしたい指導を目指して

特別支援教室では、在籍校と拠点校の連携を密にし、個に応じた指導を行います。

そのために、巡回指導を行う教員、在籍校の担任、特別支援教育コーディネーターの教員がそれぞれの役割を理解し、一人ひとりに合った指導を行えるよう情報を共有しながら、指導を行います。特に、対象の児童がどのような学習に困っているのか、特別支援教室で学んだことが在籍校においてどのように生かすことができるのか、を共有し、指導の充実を図ります。



◆教育指導課

042(438)4075

特別支援教室市民説明会を開催しました

2月12日(日)、防災センター16階講座室において、特別支援教室市民説明会を開催しました。当日は、70名を超える参加がありました。



説明会の様子

説明会では、今年度モデル校として実際に授業を行っている学校の校長先生の話や、担当の先生が、「L教室（個別指導）」と「S教室（小集団指導）」の指導について「の説明などを行いました。

また、「一人ひとりを生かす教育」子どもの特性に焦点をあてて」と題して、SpaceZero P.D.D.心理・教育研究所長、水野薫氏が基調講演を行いました。

◆教育企画課

042(438)4071